

# 若槻養護学校施設整備事業基本計画策定支援業務委託プロポーザル 審査講評

## 1 審査概要

本事業のプロポーザルでは、各分野を代表する六名の審査委員（以下「委員」という。）による審査委員会（以下「委員会」という。）により、募集要領の策定、一次審査及び二次審査について慎重かつ厳正な審査を行った。

## 2 選定結果

次のとおり、最適候補者等を選定しました。

最適候補者	(株)COA
候補者（次点）	N A S C A + E u r e k a 共同企業体
準候補者（次々点）	該当なし

## 3 審査経過

### (1) 第1回審査委員会

日程： 令和4年5月9日（月）、13日（金）

場所： オンライン会議

内容： 委員長の選出、NSD プロジェクトの理念の確認、実施要領等の協議を実施

### (2) 第2回審査委員会

日程： 令和4年5月29日（日）、30日（月）

場所： オンライン会議

内容： 募集要領における参加資格要件、審査方法等の協議を実施

### (3) 第3回審査委員会（一次審査）

日程： 令和4年8月28日（日）

場所： 全国町村会館（東京都千代田区）

概要： 二次審査対象者の選定等を実施。

まず、提案書等の提出のあった五者について、参加資格を有すること、及び提出書類について実施要領に規定する記載要領に従って作成されていることなど失格基準に抵触していないこと、更には委員へ事前説明その他接触などがなく留意事項に

おける禁止事項に抵触していないことを確認した上で、審査を行った。

その後、五者について一者ずつ各委員の専門的知見からの講評を交えた意見交換を実施し議論を行い、五者全てを二次審査対象者として選定した。【表1】

#### (4) 第4回審査委員会（二次審査）

日程： 令和4年10月16日（日）

場所： 長野養護学校三輪教室（長野県長野市）

概要： 実施体制及び提案書に基づき、一者当たり発表15分の公開プレゼンテーションを五者続けて行った。続けて五者が一堂に会して75分の公開ヒアリングを実施した。

その後、提案書等の内容及びプレゼンテーションやヒアリングなどを踏まえて委員会において次のとおり審議を行った。まずは、各委員が専門的知見に基づいた評価を示しながら意見交換を行い、多面的な評価軸を共有した。その上で、議論対象とする提案を絞り込む参照とするため、各委員が最大二票で投票した。【表3】

結果、株式会社COAと他者の間に大きな差が確認できた。委員会では、当該提案が有するバリューと、予測されるリスクを列記しながら再度丁寧な検討を行った。丁寧な議論を介しても優位は覆ることが無かったことから、委員会では全会一致で、最適候補者を「(株)COA」に選定することとした。

候補者（次点）に関しては、0票及び一票の各者を含んで幅広く議論を行い委員会の総意として、「NASCA+Eureka共同企業体」を選定することとした。準候補者（次々点）については、上記二者を除く三者を対象に議論したが、上記のような経緯を踏まえた上で、全委員が該当なしとすることに同意した。

【表3】二次審査 投票結果

提案者名（発表順）		投票数
1	(株)COA	6
2	NASCA+Eureka共同企業体	1
3	(株)エーシーエ設計	0
4	(株)宮本忠長建築設計事務所	0
5	千倉平設計共同体	0

## 4 講評

### (1) 全体講評

病院奥の高低差のある敷地の全面的な建て替えとなる本事業に対して提出された五者の提案は、どれも熟慮された提案であった。NSD の理念に共鳴し、多くの時間と労力をかけて、応募の労を取って頂いた方々に感謝の意を表したい。

本事業は、東北信地域で唯一の病弱の特別支援学校である若槻養護学校の学びと空間の環境を整備するものである。NSD は、こうした学校固有の条件やコンセプトに配慮しながら、長野県が目指す新たな学びを実現する学習空間を実現するために、基本計画の段階から設計者一体となって取り組もうとする全国的にも例のない事業と言える。

二次審査に残った五者は、どれも新たな学びの実現や地域における学校の在り方など多様な観点から切り込んでいたことに加えて、特別支援学校のあり方と環境整備の可能性に教育と建築の両面から真摯に向き合おうとした優れたものであった。最終的には、障がいの特性や多様な学び方に細やかに対応するだけでなく、魅力的な空間の提案を通じて児童生徒の可能性を最大限伸ばすことに配慮した株式会社COAを最適候補者として選定した。

ここからが本当のスタートである。最適候補者に選ばれた主体には、学校や地域など学校づくりに関係するすべての人が、自分たちが携わったから良いものができたと胸をはって言える学校づくりとなるよう、丁寧に本事業に取り組まれることを期待している。

### (2) 個別講評（二次審査対象者）

#### (株)COA 《最適候補者》

児童生徒の具体的な姿をイメージしながら建物の影響を熟慮しており、様々なところに工夫も見られた。ヒアリングの受け答えも、考えてきたことひとつひとつに対して丁寧に説明する姿勢が好感を持って受け取られた。これは、事業の特殊性から先生方や地域の方とのきめの細かい協働が求められる本件において、重要な要件と言える。ボリュームが大きいことに起因するコストコントロール上の懸念も指摘されたが、基本計画において条件を精査していく中で、改善していくことは十分に可能であると評価された。

一方、災害対策について建築的対応の練度をより引き上げる必要があること、家具については具体化に向けた踏み込んだ検討が必要であることなど、課題も指摘された。

#### N A S C A + E u r e k a 共同企業体 《候補者（次点）》

緑豊かな敷地北側にFLAを軸とした教室群を雁行配置することで、外部環境の取り込みと児童生徒の居場所づくりの両立を目指した提案である。課題に対する建築的な対応が的確であり、また経験豊富なチーム構成は、本事業が求めている柔軟かつ成熟したプロセスマネジメントを可能にするものとして高い評価を受けた。

ユニークな建築的アイデアが提示されている一方で、それが突出しているようにも見え、今後のプロセスの中で求められる、個々の児童生徒に寄り添った対応にどこまで追隨できるかが懸念として提示された。また、本提案の魅力の中核をなすFLAにおける動線部分とたまり部分が不分離のように見え、単なる廊下になってしまわないかといった意見も出された。こうした懸念から、惜しくも次点に留まることとなった。

(以下、発表順)

#### (株)エーシーエ設計

大きな吹き抜けをもつエントランスと、小学部・中学部・高等部のユニットをゾーニングした提案である。わかりやすいプレゼンテーションから、計画サイドが基本をしっかりと理解していることが伝わってきた。

一方で、空間支援が最も必要な児童生徒達に対する、具体的な建築的・空間的な対応が読み解けなかったこと、児童生徒に将来への希望を与えるような質の高い空間性をとった本事業の骨子に対する対応が見出しがたかったことなどから、それ以上の評価を得ることはできなかった。

#### (株)宮本忠長建築設計事務所

地元で長年の実績があるこの者の提案は、東西軸に大きな空間をもつ共用ホールで各室をつなぐ平面・断面構成となっている。誠実にコストや工期の考え方をしていること、相手に歩み寄ったわかり易いプレゼンテーションを心掛けているなど、計画者の真摯な姿勢が伝わるものであった。

一方で、本事業が要求する課題に対し、丁寧には答えているものの、積極性や具体性の面で踏み込みが足りないのではという懸念も出された。また、東西に配された外部空間の実現可能性についても審査員から異論が提示され、それ以上の評価を得ることはできなかった。

#### 千倉平設計共同体

比較的若手で構成されたチームによるこの提案は、校舎を敷地の南西側にL型に配置し、ポイドスラブ・耐震壁・扁平梁によって明快な空間構成を示すとともに、プレゼンテーション及びヒアリングにおいても積極性に富んだ受け答えを展開し、NSDが期待する新しい可能性の開拓を感じさせるものであった。

その一方、質疑のやり取りが、質問側から提示された課題を真摯に解く方向ではなく、啓蒙的な追加説明を重ねることで、自らの想いを実現しようとしているようにも受け止められたという指摘もあった。これから経験を積んでいくことで解消される類のものとも思われるが、関係者が一体となって難題を解いていくことをその中核に据える本事業においては、慎重に扱うべき与件と判断され、支持を広げることは出来なかった。

## 5 プロポーザル概要

### (1) 経過

令和4年5月9日、13日	第1回委員会	
令和4年5月29日、30日	第2回委員会	
令和4年6月27日	公告	
令和4年7月4日、5日	現地説明会	
令和4年7月15日	参加表明書の提出期限	七者提出
令和4年8月8日	一次審査書類の提出期限	五者提出
令和4年8月28日	第3回委員会 (一次審査)	二次審査対象者の選定(五者)
令和4年9月2日	一次審査結果通知	
令和4年9月27日	二次審査書類の提出期限	五者提出
令和4年10月16日	第4回審査委員会 (二次審査)	公開プレゼンテーション 公開ヒアリング 最適候補者等の選定

### (2) 審査委員会等構成

審査委員会(五十音順・敬称略)

区分	氏名	所属等	分野
委員長	赤松 佳珠子	法政大学・教授 (株)シーラカンズアンドアソシエイツ・代表取締役	建築
委員	垣野 義典	東京理科大学・教授	建築・教育
委員	下山 真衣	信州大学・准教授	特別支援教育
委員	高橋 純	東京学芸大学・教授	教育
委員	寺内 美紀子	信州大学・教授	建築
委員	西沢 大良	芝浦工業大学・教授 (株)西沢大良建築設計事務所・代表取締役	建築

アドバイザー(敬称略)

氏名	所属等	分野
小野田 泰明	東北大学・教授	都市・建築学